

小児のフィジカルアセスメント



小児を対象にフィジカルアセスメントを行う際には、発達段階に応じたアセスメントのアプローチやスキルが必要です。幼児編では5歳児を中心に、乳児編では6ヶ月児を中心に、方法や実施上のポイントについて解説を加えながら見ていきます。

- 原案監修：土井 まつ子 愛知医科大学 看護学部 教授
- 原案：相山 委都子 前静岡国立大学 健康支援センター
- 学術協力：リンダ L. リンデケ ミネソタ大学 看護学部 准教授

● DVD全3巻 ■各巻価格 ¥29,400 (本体価格 ¥28,000)
■セット価格 ¥88,200 (本体価格 ¥84,000)

vol.1 幼児 (I) 皮膚・頭頸部・眼・耳・呼吸器 37分

健康歴の聴取、一般状態、皮膚・爪、頭頸部、眼、耳、胸部・呼吸器のフィジカルアセスメントについて、5歳児を例に見ていきます。また、アセスメントをスムーズに行うための部屋・器具の準備、そして、幼児への接近方法についても具体的に解説しています。

vol.2 幼児 (II) 心血管・腹部・生殖器・筋骨格・神経系 33分

心臓・血管系、腹部、鼠径・生殖器、骨格・筋、神経系のフィジカルアセスメントについて、5歳児を例に見ていきます。幼児の心臓、生殖器の解剖・生理学的な特徴についても解説しています。番組の最後には、Vol.1、2を通じた、幼児のフィジカルアセスメントの進め方、注意点についてのまとめがあります。

vol.3 乳児 6ヶ月児のフィジカルアセスメントを中心に 33分

小児のフィジカルアセスメントは、年齢・月齢によって、実施する内容や診察するポイントが大きく異なります。この番組では6ヶ月児を例に実際の乳児のフィジカルアセスメントを見ていきます。また、異なる月齢児のアセスメント映像と対比させながら、月齢・状況に応じたアセスメントについても解説しています。
©2003

小児看護技術



子どもには、自分の苦痛や症状を言葉で伝えることが難しい、症状が急変しやすい、また治療や処置の必要性が理解できない等の理由から、成人と異なる看護援助が必要です。看護者には、患児の苦痛やストレスを軽減させ、病気への対処能力や回復力を引き出すための様々な看護技術が求められます。



- 原案監修：山口 求 広島国際大学 看護学部 教授

● DVD全3巻 ■各巻価格 ¥29,400 (本体価格 ¥28,000)
■セット価格 ¥88,200 (本体価格 ¥84,000)

vol.1 乳幼児の臀部浴と上半身清拭 25分

子どもへの負担を最小にして、入浴と同様の快を提供できます。このビデオでは、11ヶ月児と3才児に対して臀部浴・上半身清拭を実践し、子どもの年齢に応じた手技のポイントや工夫を分かりやすく解説します。

vol.2 小児ケアへの遊びの導入 プリパレーション 26分

治療や処置、ケアに遊具や絵本などの遊びを取り入れることで、子どもの苦痛を軽減し、治療、処置に対する理解を促します。このビデオでは、11ヶ月児(急性気管支炎)、3才児(ネフローゼ症候群)、4才児(アレルギー性紫斑病)、5才児(細菌性急性腸炎)に対してプリパレーションを実践し、子どもの年齢や理解度に応じた説明の仕方や工夫について分かりやすく解説します。

vol.3 小児の救急看護 23分

子どもの心肺停止の原因の多くは、分泌物過多、吐物、異物などによる気道閉鎖や呼吸器疾患による呼吸不全です。心肺停止になる前の呼吸停止の段階で適切な気道確保と人工呼吸を行うことができれば、救命できる可能性は高くなります。このビデオでは、緊急性の看護として、乳児の異物除去法と心肺蘇生法、幼児の異物除去法と心肺蘇生法について、モデルやCGを用いて分かりやすく解説します。
©2005

子どもの病気と看護技術



小児白血病に焦点を当てます。第1巻では、検査、診断から治療過程の概要。第2巻では、最も頻繁に行われる処置である採血、輸液を受ける子どもへの援助について。第3巻では、白血病の診断や治療の中でも大きな苦痛を伴う骨髄穿刺と腰椎穿刺を受ける患児への援助について解説します。



- 原案監修：中垣 紀子 日本赤十字豊田看護大学 教授
- 学術協力：加藤 剛二 名古屋第一赤十字病院 小児血液腫瘍科 部長

● DVD全3巻 ■各巻価格 ¥29,400 (本体価格 ¥28,000)
■セット価格 ¥88,200 (本体価格 ¥84,000)

vol.1 小児白血病の検査と治療 概要 20分

小児白血病の治療過程を、外来受診から白血病の検査と診断そして治療まで、簡潔に順を追って解説します。外来受診時では、初期に見られる身体所見について。診断までに行われる検査や処置では、血液検査、骨髄検査、腰椎穿刺などについて。治療では、化学療法、支持療法としての輸液、造血肝細胞移植の概要を分かりやすく説明します。また白血病の主な種類と分類、小児白血病の傾向、晩期障害についても説明します。さらに番組の最後では、白血病の子どもを持つ家族が看護師にあてて思いを綴った手紙を紹介します。

vol.2 採血・輸液を受ける子どもへの援助 28分

頻繁に行われる処置である採血、輸液に焦点を当て、処置の目的や操作の手順、ポイントを実写とCGで分かりやすく解説します。臨床場面では、最も一般的な肘正中皮静脈からの採血を取り上げます。子どもが採血を行う際、主体的に処置を受けられるようにするために看護師が行う援助の方法やポイントについて、CGを交えて解説します。また、手背静脈からの輸液と中心静脈からの輸液に焦点を当て、器具の操作や取り扱い、援助の方法やポイントについて分かりやすく解説します。

vol.3 骨髄穿刺・腰椎穿刺を受ける子どもへの援助 24分

急性リンパ性白血病の治療のために骨髄穿刺、腰椎穿刺を受ける1才女児の臨床場面を通して、患児や家族が安心して主体的に検査を受けるための説明とケア(患児の身体的・心理的準備、処置後のケア)、処置を安全かつスムーズに行うために必要な看護師の業務(処置室の準備、必要物品の準備、処置中の患児の観察、患児の固定法)について解説します。また処置の目的や適応、セデーションについても解説します。
©2006

制作著作

株式会社 医学映像教育センター



本社 / 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸1-8-17 TOYA BLDG 7
TEL:03-3329-1241 FAX:03-3303-1434 フリーコール:0120-377-189
関西営業所 / 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-6-60 プラザ新大阪305
TEL:06-6150-3301 FAX:06-6150-3303 フリーコール:0120-263-243
ホームページ: <http://www.igakueizou.co.jp>